



2020年2月13日

各位

会社名 株式会社スペースマーケット
 代表者名 代表取締役社長 重松大輔
 (コード番号: 4487 東証マザーズ)
 問合わせ先 取締役 佐々木正将
 TEL. 050-1744-9969

2019年12月期通期業績予想と実績との差異及び法人税等調整額の計上に関するお知らせ

2019年12月20日に「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」において開示しました2019年12月期（2019年1月1日～2019年12月31日）の業績予想と本日公表の実績値の間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、当社は2019年12月期決算において、下記のとおり法人税等調整額を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2019年12月期通期業績予想数値と実績値との差異（2019年1月1日～2019年12月31日）

	売上高	営業利益又は 営業損失(△)	経常利益又は 経常損失(△)	当期純利益又は 当期純損失(△)	1株当たり当期 純利益又は1株 当たり当期純損 失(△)
	千円	千円	千円	千円	円 銭
前回発表予想 (A)	804,944	34,112	8,959	6,653	0.62
今回実績 (B)	873,897	43,941	32,023	45,823	4.28
増減額 (B-A)	68,953	9,829	23,063	39,170	
増減率 (%)	8.6	28.8	257.4	588.7	
(ご参考) 前期実績 (2018年12月期)	578,247	△268,659	△271,923	△274,213	△28.70

(注) 2019年10月1日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割を実施しております。上記では、2018年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)を算出しております。

2. 差異の理由

売上高は、プラットフォームサービスにおいて第4四半期の利用スペースあたりの月間GMVが前回予想を上回ったこと及び法人向けソリューションに係る新規案件の受注が当初予想を上回ったことにより、前回発表予想を上回る結果となりました。

利益面につきましては、法人向けソリューションに係る業務委託費の発生及びマーケティング活動について追加投資を実施したこと等により、売上原価、販売費及び一般管理費がそれぞれ前回発表予想から増加したものの、売上高の増加がこれを上回ったことにより営業利益についても前回発表予想を上回る結果となりました。

また、上場に際しての営業外費用が前回発表予想よりも発生しなかった結果、経常利益については前回発表予想を大幅に上回る結果となりました。さらに、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、回収可能性のある部分について繰延税金資産を計上することとし、それに伴って法人税等調整額を計上した結果、当期純利益についても前回発表予想を大幅に上回る結果となりました。

3. 法人税等調整額の計上

当期の業績及び今後の業績の見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、回収可能性のある部分について2019年12月期決算において繰延税金資産20,909千円を計上し、法人税等調整額（益）を同額計上することといたしました。

以 上